

第14回 ナーシング・キャリアカフェ沖縄 報告書

- I. 日時：2014年5月24日（土） 14：00～15：30
- II. 場所：ムーンライト東崎（沖縄サテライト）
- III. テーマ：嬉し、楽し、助産師のお仕事 ー命を育む仕事を選んでー
- IV. 講師：山田忍氏（琉球大学医学部附属病院助産師、琉球大学大学院前期課程在籍中）
- V. 参加者：45名
（琉球大学4名、県立看護大学18名、名桜大学11名、沖縄看護専門学校5名、
既卒生1名、その他1名、教員5名）

VI. 担当校：琉球大学

VII. 目的：

大学を卒業後、大学医学部附属病院に就職し看護師・助産師として勤務しながら、結婚・子育てを経験し、さらに大学院に進学している先輩との交流を通して、学生自身のキャリア形成を考える機会とする。

VIII. プログラム

時間	内容
14：00	オリエンテーション・本日の流れ・講師紹介
14：05	学生自己紹介
14：15	講演「嬉し、楽し、助産師のお仕事 命を育む仕事を選んで」
14：45	学生との情報交換、質疑応答
15：15	学生の感想
15：30	写真撮影、アンケート記入後、終了

IX. 概要

現在、琉球大学附属大学病院の周産母子センターで助産師として勤務している山田忍氏を招いて講演をしていただき、学生からの質問に答える形式をとった。

初めに学生の頃のお話や助産師を目指した経過等をお話しされた。そして、勤務している大学病院での助産師の仕事内容について、分娩件数や帝王切開件数などデータや写真を示しながら解説していた。また、病棟内の看護だけでなく、他科に入院している患者への思春期教育を行った経験や、地域の学校へ出かけ思春期教育を行っていることが紹介された。生活と仕事との調和という事で、ご自身の経験や日常についてもお話しされた。

参加した学生からは「帝王切開の件数が示されていたが多いのか？どう解釈したらいいか。」「大学院に進んでいるが仕事だけでも忙しいにどのように日常過ごしているのか。」「大学院に入ってからキャリア形成やその後のこと。」「ご自身の出産経験などが看護に活かしていることはあるか。」「やりがいを感じることは何か。」「求められる力は何か。学生時代に何を経験していたらいいと思

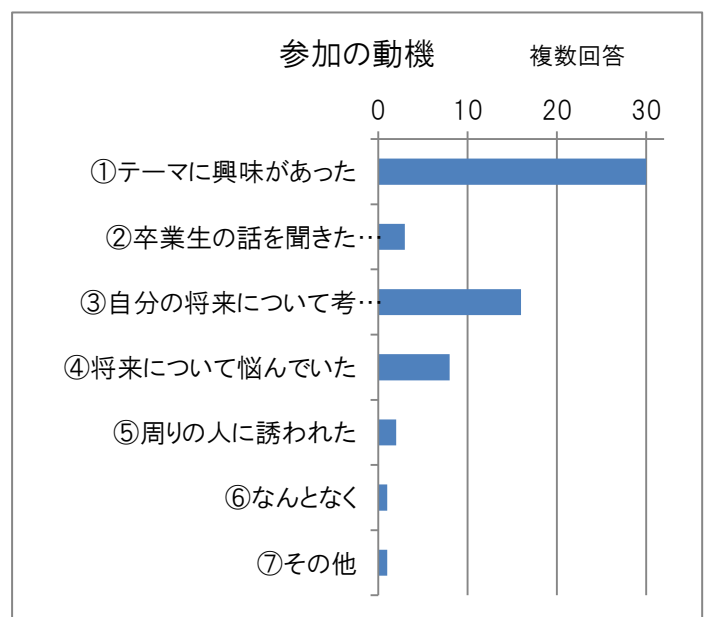
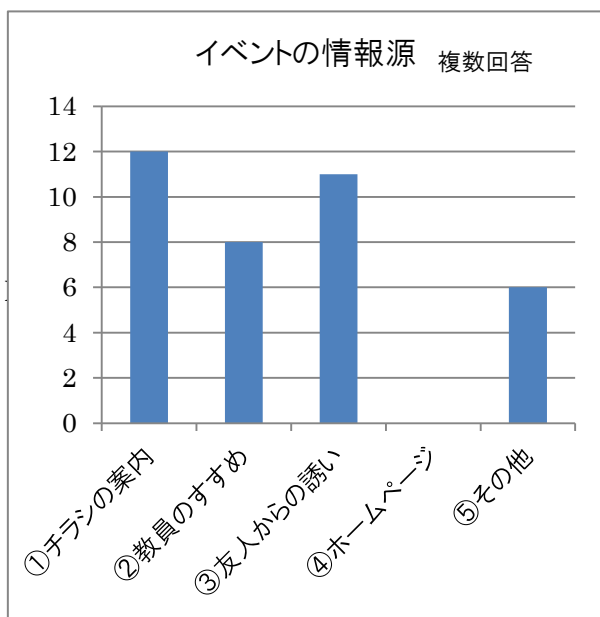
うか。」など多くの質問が出された。山田氏はその一つ一つに丁寧に答えられ、出産した方から「ああ自分（お母さん自身が）頑張ったね。」という言葉聞いた時に、いい看護が出来たなと感じ、退院後に「出産の時、いてくれてありがとうございました。」とお手紙をもらう時などがとてもうれしいとお話しされた。自身が入院した時の経験から、入院患者の精神状態には看護師の言葉や態度が大きく影響する事や、コミュニケーション力を磨くために普段の会話が重要なので同級生や友達だけでなく、教員や親など縦の関係を含めたくさんの人との関わりを持つことも大事だと話された。山田氏は、大学院には職場の協力を得ながら通学している事や、研究に取り組むことで視野が広がることも紹介されていた。

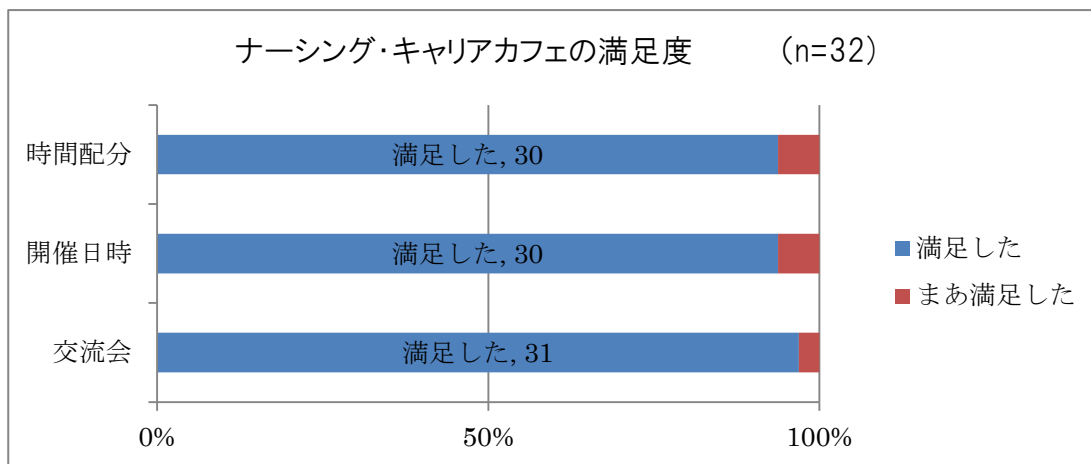
学生の感想としては「現在、助産師コースで、教員に厳しく言われることもあるが、話を聞いたことで頑張ろうと思った。」「将来、助産師になってみたいと思った。」「助産師になろうか迷っていたが、やってみようと思った。」「来週から琉大産婦人科での実習があるので、楽しみです。頑張ります。」等の感想が述べられ、盛会であった。

X. アンケート結果：学生アンケート回収率 84.2% (n=32)

学生の属性

学年	1年	2年	3年	4年	計
	4 (12.5%)	5 (15.6%)	19 (59.4%)	4 (12.5%)	32 (100%)
年齢	20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30歳以上	
	5 (15.6%)	24 (75.0%)	2 (6.3%)	1 (3.1%)	32 (100%)
参加回数	1回	2回	3回	計	
	27 (84.4%)	2 (6.2%)	3 (9.4%)	32 (100%)	





自由記載

- ◆ 自分の将来につなげたい
- ◆ NICU や PICU についての企画を実施してほしいです。
- ◆ 地域で活躍する助産師や開業した助産師などの話を聞いてみたいです。
- ◆ 臨床現場でのリアルな話を聞けて良かったです。ありがとうございました。
- ◆ 助産師の方のお話を聞けることがなかなか無いので、今日は貴重な話を聞くことができ良かった。育児・仕事・キャリアアップを両立されていることを知り、自分もこうなれるように頑張ろうと思えた。ありがとうございました。
- ◆ 自分の今後を考えさせられる非常に良い機会になりました。助産師の話はあまり聞くきっかけが与えられないので、今後もありましたら参加したいです。
- ◆ 自分の将来について具体的に想像することが出来てとても良かったです。
- ◆ 実際の現場で働いている助産師さんの具体的な話を聞けて良かったです。
- ◆ 保健師の企画も実施してほしいです。
- ◆ 具体的に助産師さんの話を聞けて、私も助産師にぜひなりたいたいと思いました。人とのつながりを大切にして目標に向けて学校生活を過ごしていきたい。
- ◆ 今回のお話を聞いて、助産師に対する関心が深まりました。実際に働いている方からのお話を聞けて、自分の中での決意も出来ました。本日はお忙しい中ありがとうございました。
- ◆ 自分の将来について考える良いきっかけになった。
- ◆ 助産師さんの話を聞く機会がもっと欲しいです。
- ◆ 助産コースに行くかどうか迷っていたんですけど、頑張ってみたいと思いました。
- ◆ 実際に働いている助産師の声を聞くことができ良かった。

XII. まとめ

助産師として働くやりがいと共に、家事や出産・育児を通して生活する力が養われ、それが看護に活かされているという講師の話は、女子学生が多い看護学生の将来像に働き方の可能性が広がり、キャリアアップとしての大学院への進学など視野が広がったと考える。

今回は講師の病棟で実習中の他看護学校の学生がこのイベントがあることを知り参加にいたった。また学内に貼られているチラシを既卒生が見て、イベントに参加するきっかけになった。看護系大学の学

生だけでなく、将来は共に働く他看護学校の学生や既卒生にもこの企画のニーズはあることが示唆された。今後は看護系大学以外の学生や関係病院等への広報活動も検討が必要である。

